

## 阪神淡路大震災 30 年 屋外作品設置のお知らせ

兵庫県立美術館では、来年 1 月 17 日が阪神・淡路大震災から 30 年を迎えるのを機に、公益財団法人伊藤文化財団からの寄贈により、屋外作品の設置を予定しています。

設置場所は、地上 4 階にある屋外スペースの「風のデッキ」です。北を望むと山が、南を望むと海が見え、風景や風土に意識が集中できるスペースで、安藤忠雄建築のエッセンスをよく示す場所でもあります。

作品を制作くださるのは、現在、日本の彫刻界、美術界で活躍され高い評価を得ている青木野枝さんです。鉄を素材にした作品で知られ、2002 年当館の開館記念展への出品作家でもあり、各地の芸術祭や恒久的な屋外設置作品を多数制作されています。

現場での設置を 12 月上中旬に行い、正式なお披露目を 2025 年 1 月 10 日に催し、その後、一般公開いたします。お楽しみに。

### 作家プロフィール | 青木野枝 (あおき のえ)

1958 年、東京に生まれる。81 年武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業、83 年同大学大学院造形研究科修了。80 年代初頭より鉄の溶接、溶断による作品を発表、素材の重厚さを思わせぬ伸びやかに空間に広がる作風で、彫刻に新たな息吹をもたらし、高い評価を得る。「青木野枝 ふりそそぐものたち」(豊田市美術館・名古屋市美術館、2012 年)、「青木野枝 ふりそそぐものたち」(長崎県美術館、19 年)、「青木野枝 光の柱」(市原湖畔美術館、23 年)を開催。当館も開館記念第 2 弾特別展「美術のカー時代を拓く 7 作家」に招待した(2002 年)。東京国立近代美術館、国立国際美術館をはじめパブリック・コレクション多数。《空の粒子/パッセージ》(日本生命淀屋橋ビル、日本生命保険相互会社東館/大阪)、《空の玉/寒霞溪》(小豆島・香川)など公共空間への設置も多い。

14 年の毎日芸術賞、17 年の中原悌二郎賞など受賞多数。21 年紫綬褒章受章。埼玉県飯能市在住。



兵庫県立美術館 4 階「風のデッキ」